

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報			
• 学部	システム理工学部		
• 学科(コース等)	生命科学科生命科学コース		
• 学年(渡航開始時)	3年次		
• ウェブ等への体験談掲載への同意	☐ 氏名も掲載してよい	☒ 学部・学科まで掲載してよい	☐ 完全匿名での掲載を希望

留学先情報			
• 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型	☐ オンライン型	
• プログラムタイプ	☒ 授業履修型	☐ 研究室配属型	
• 国・地域名	ポーランド		
• 都市名	ブロッツフ		
• 留学先大学名	ブロッツフ工科大学		
• 留学期間	☐ 3ヶ月未満	☒ 3ヶ月～半年（1セメスター程度）	☐ 半年～1年（2セメスター程度）
• プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	2024/10/1	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)
• 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	☐ 1年前期☐ 修士1年前期 ☐ 1年後期☐ 修士1年後期 ☐ 2年前期☐ 修士2年前期 ☐ 2年後期☐ 修士2年後期 ☐ 3年前期☐ 博士以上 ☒ 3年後期 ☐ 4年前期 ☐ 4年後期		
• 上記協定校を志願した理由を教えてください。	交換留学が盛んなヨーロッパの中で、ポーランドは比較的安かつ物価が安い国であったため。また、ブロッツフはポーランド有数の大学都市であり、ブロッツフ工科大学では多数の留学生を受け入れていたため英語開講科目が豊富だったから。		
• (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)			

留学中の学籍について	
• 休学の有無	☐ 休学をした ☒ 休学しなかった
• 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取れ終えており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	国際プログラムに所属しているため、休学せずに半期の留学をすることが出来た。

留学先での学習・研究状況			
留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。	環境工学部の授業で水質汚染や大気汚染、およびそれらを測る生物指標についての授業などを中心に受けた。また、他学科からの履修で解剖学とポーランド語の授業を受けた。ほとんどの授業でテストがあり、形式は〇〇について説明しなさいというような記述形式だった。単位数は1～2ECTSのものが多く、必須である15ECTS以上を取るために多くのテストを受ける必要があったが、科目ごとに内容が重なる部分があったため少し楽に勉強することが出来た。		
授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。（たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。）	科目名①	Environmental Chemistry (Lecture)	単位数 (現地単位数) 3
	科目概要	水部門、空気部門、土壌部門の三部門に分かれており、それぞれ1ECTSだった。水部門では水質汚染やその測定法などを学び、空気部門では大気汚染とその原因物質について学び、土壌部門では結晶構造や材料について学んだ。すべての部門のテストに合格する必要がある、成績は三部門の平均になる。	
	科目名②	Environmental Chemistry (Laboratory)	単位数 (現地単位数) 2
	科目概要	水部門、空気部門に分かれていた。授業で学んだ汚染の測定方法や計算方法などを使って実際に汚染レベルを測定する。各部門でレポートを提出する必要があり、成績は2部門の平均になる。	
	科目名③	Sanitary Biology (Lecture)	単位数 (現地単位数) 1
	科目概要	衛生生物学の授業で、病気を引き起こす細菌の繁殖方法やそれを防ぐ方法などを学んだ。期末テスト(選択問題)によって最終評価。	
	科目名④	Sanitary Biology (Laboratory)	単位数 (現地単位数) 1
	科目概要	空気中の微生物を計測したり、消毒薬の強さを比較したり、授業で習った内容に関する実験を行い、授業ごとにレポートを提出した。	
	科目名⑤	Biomonitoring	単位数 (現地単位数) 1
	科目概要	水質汚染や大気汚染を測る生物指標について学習した。期末テストによって最終評価。	
	科目名⑥	Air pollutants and their sources (Lecture)	単位数 (現地単位数) 1
	科目概要	大気汚染による健康や環境への被害と、大気汚染を引き起こす物質、及びその発生源について学習した。期末テストによって最終評価。	
	科目名⑦	Air pollutants and their sources (Laboratory)	単位数 (現地単位数) 1
	科目概要	大気汚染物質が排出される様々な状況をシミュレーションして、エクセルファイルを用いて計算を行った。授業最終日に出された課題を授業時間内に解いて提出し、それが評価される。	

科目名⑧	Methods and techniques of air pollutants measurement	単位数 (現地単位数)	1
科目概要	大気汚染物質ごとに適した測定方法を学習した。期末テストによって最終評価。		
科目名⑨	Anatomy for Biomedical Engineers	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	解剖学の授業で、部位の名前と働きについて学習した。また、課題として出された部位の3Dモデルを作る必要があり、毎回の小テストと自作の3Dモデルに関するプレゼンテーションによって評価された。		
科目名⑧	Polish language	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	A2レベルを選択したため、内容は基本的なあいさつや家族構成の紹介などだった。中間テストと期末テストがある。		

留学先での学習・研究以外の交流活動	
交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。	寮で同じ部屋の人と仲良くなりやすく、クリスマスパーティーをしたり一緒に旅行に行ったりした。また、私が所属していた環境工学部には留学生が自分を含めて4人しかいなかったため、仲良くなりやすかった。

自由記述欄	
留学で感じたこと等、自由に記載してください。 (当初の留学計画を達成していたか、新たな発見はあったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)	学習面: - 生物用語や化学用語を英語で覚える必要があり、量が多いので大変だった。また、ヨーロッパの他の国からの留学生は英語のレベルが高く、さらに、母国語の用語と英語の用語で似ている部分があるとのことで授業の理解度に差が出てしまうのが大変だった。 - テストのほとんどが記述問題だったため、授業内容を理解したうえで自分の言葉で説明する必要があり、その勉強が大変だった。 生活面: - 硬水なので肌が乾燥しやすかったです。日本に売っているような化粧水などはあまり見かけず、あっても高かったので日本から持っていく方が良いと思います。

留学手続き時に苦労した点	
・ 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）	時間割やシラバスを事前に知ることが出来ないまま履修計画書を提出する必要があるため、ほとんどの場合留学後の訂正期間に考え直すことになります。また、最低授業開講人数が4人以上のため、人数が足りないと開講されない科目もあります。同じ学科内の授業だと時間割がうまくみ合うことが多いですが、他学科から履修する場合はかみ合わないこともあり、大変でした。
・ ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など） （渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）	ビザ関連の書類は準備に時間がかかるものもあるので、行く国が決まったら必要書類の中で時間がかかりそうなものを早めに用意しておくとうよいと思います。例えばカードの利用可能額証明書は利用している機関によっては発行されないこともあり、思ったよりも時間がかかってしまうことがあります。
・ その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。	ビザの申請で大使館に行く場合、予約が必要なことがあるのでよく確認する必要があります。

滞在先の宿泊施設などの情報（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）	
・ 宿泊先のタイプを教えてください。（協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等）	指定校の寮
・ 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？（出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等）	出願時に指定校に依頼することが出来た。
・ 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？ 交通手段や所要時間を教えてください。	Boltという配車アプリを使って空港から寮まで移動しました。 tramやバスは乗車口に段差があるため、荷物が多い場合は配車サービスの方が良いと思います。
・ 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。	寮の前から学校の各校舎の近くまで tramやバスが走っていたのでそれを利用していました。 時間は15分ほどで、学割を使うと半額で乗ることが出来ます。
・ 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。	2人一部屋で隣の部屋との共有部分がある。共有部分にはクローゼットや全身鏡、食器棚などがあり、バスルームにはトイレとシャワー、洗面台がある。2人部屋には学習机、棚、ベットがあった。光が良く差し込む部屋で住み心地は良かったが、月に一回水道使用量を確認するために管理人が無断で共有部分に入ってくることがあった。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	22PLN (¥835)	学生証発行手数料
往復航空券代(往復)	¥322,700	行き(成田→ワルシャワ ワルシャワ→プロツワフ) ¥181,350 帰り(ワルシャワ→成田) ¥141350
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥101,970	保険料¥87,990 危機管理料¥13,980
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥30,000	寝具、WiFiルーター、電気ポット、調理器具糖
計	¥455,505	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥28,000	寮の家賃が640 PLN 各部屋の使用状況に応じた電気代及び水道代
食費/月	¥30,000	
その他/月	¥30,000	防寒具やスキンケア用品、授業で使用する文具など
計	¥88,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥80,000	5か月分
計	¥80,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

左:学校の建物のうちの一つ
右:クリスマス時期の校内

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

左上:キッチン 左下:部屋の中
右:バスルーム

その他、任意の写真



説明文

左:プロツワフ市内の景色
右:プロツワフの小人

その他、任意の写真



説明文

様々な国を旅した様子

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。